

平成 29 年度第 1 回三重県少子化対策推進県民会議・計画推進部会（5 月 19 日）
結果概要（スマイルレポート（案）に関すること）

1 概要

みえ子どもスマイルレポート（案）に基づき、28 年度の 14 の「重点的な取組」の進展度について確認いただくとともに、少子化対策全体の総括について重点的な取組の全体的な進捗状況から「ある程度進んだ」とする方向で了承されました。

2 少子化対策全体の総括及び重点的な取組に関する主なご意見

（1）全体の総括や合計特殊出生率について

①都道府県の合計特殊出生率はデータの制約上、国勢調査年は上がり、それ以外の 4 年は下がる傾向にあることをふまえる必要がある。その上で少子化対策は全体として良い方向に向かっていると考えられる。

（2）ライフプラン教育、出逢い支援について

- ①中学生や高校生などに向けたライフプラン教育は実を結ぶのに時間がかかることから、継続することが重要。
- ②性に関する知識は保護者より子どもが進んでいる状況もあり、親、保護者をどう巻き込んでいくかが課題。
- ③ライフプラン教育は進んできており、今後、医学的な知識をより丁寧に説明し、伝えていく視点が求められている。
- ④婚活していることを親に知られたくないと考える傾向があることから、出逢い支援の取組は難しいと思うがしっかり継続してほしい。また、企業が旗振り役として働いている若者を支援するような機運の醸成も必要。
- ⑤出逢い支援について市町単独だけでは限界もあり、連携がより重要。

（3）不妊、妊産婦・乳幼児ケア、周産期医療体制、発達支援について

- ①不妊治療を開始する年齢が高く、もっと早くすれば良かったのに、と感じるケースを良く耳にする。
- ②不妊治療について、構成割合の少ない人工授精等への支援も重要であるが、より多くの方が広く助成を受けられるように進める必要がある。
- ③産婦人科医、小児科医は増えているが、今後につながるよう、研修や修学資金など、どの取組の成果によるか分析を進められたい。
- ④助産師の新規卒業者の県内定着支援が重要と考える。
- ⑤乳幼児医療の窓口無料化について鈴鹿、伊賀、四日市などで進みつつあるが、全県で実施されるよう、働きかけてほしい。
- ⑥子ども心身医療発達医療センターの開設で発達支援が必要な子どもへの支援が一層進むと期待している。

(4) 若者雇用、男性の育児参画、女性就労支援、仕事と子育ての両立支援について

- ①若者の雇用対策は全体として進んでいると思う。今後は有期契約の期限前の雇止めがないよう注視が必要。
- ②若者の雇用対策について、雇用状況の推移が分かるデータ（例：若年層の正規・非正規雇用の割合など）をスマイルレポートの余白に追記されたい。
- ③二人目を持てるようにするには働き方改革や環境整備が重要。また男性の育児休業取得率は取得者が非常に少ない状況にあることから、数値の上下に一喜一憂することなく、大きなトレンドとして見ていく必要がある。
- ④同一労働・同一賃金に関する政府の動きをウォッチする必要がある。
- ⑤ワーク・ライフ・バランスの取組が進んでいるが、生産性や就労者の意欲向上につながっているか疑念を持つ意見も聞かれる。
- ⑥ワーク・ライフ・バランスや男性の育児参画の推進にあっては周囲、とりわけ上司の理解が大切であり、「イクボス」の影響や役割は大きい。
- ⑦男性の育児休業取得率を把握する雇用経済部の「三重県内事業所労働条件調査」について、調査対象を増やすなど、改善に努められたい。

(5) 保育・放課後対策、子どもの貧困、虐待防止、社会的養護の推進について

- ①放課後児童クラブについて、保護者運営から委託に切り替わると希望者が増えるなど、数字には表れない潜在的なニーズは高い状況にある。
- ②放課後児童クラブは、保護者からみた安全の視点だけでなく、異年齢交流を通じた子どもの豊かな育ちを保障する貴重な地域のものである。
- ③重点的な取組 7「保育・放課後児童対策などの子育て家庭の支援」は、保育所の待機児童数等を理由に「あまり進まなかった」と評価しているが、入所要件の緩和等もあり待機児童は増えて当然であり、「ある程度進んだ」と評価しても良い。なお、待機児童がいる市町内に定員を充足していない保育所もあるはずで、その状況も確認する必要がある。転換点を迎えており、今後は量の拡充は抑制した方が良い時期に来ている。
- ④子どもの貧困対策に関連して、子ども食堂の存在感が高まっているが、連携のニーズが高くなっている。
- ⑤児童虐待は DV と密接な関連があり、双方からの支援が必要なケースもある。
- ⑥社会的養護について、大規模施設にも良さがあるという指摘もあり、環境改善も必要と考えられる。

(参考) 平成 29 年度第 1 回三重県少子化対策推進県民会議・計画推進部会 出席者

金森美智子 連合三重副会長
紀平正道 三重県産婦人科医会副会長
杉浦礼子 名古屋学院大学准教授 (部会長)
田部眞樹子 子ども NPO サポートセンター理事長
野村豊樹 三重県医師会理事
服部美穂 万協製薬株式会社品質管理部開発課
松田茂樹 中京大学教授
光永圭子 三重労働局雇用環境・均等室長